

No.129  
2022年5月

# 新潟県女性センター情報

男女が共に参画し 多様な生き方が選択できる社会をめざして

にいがた女と男<sup>ひと</sup>フェスティバル2022のご案内  
6月23日から29日は男女共同参画週間です。

～「あなたらしい」を築く、「あたらしい社会」へ～

新潟県女性財団では、男女共同参画週間（毎年6月23日～29日間）に合わせて、新潟ユニゾンプラザを会場に「にいがた女と男フェスティバル2022」を開催します。

この機会に性別に関わりなく、誰もが自分らしくイキイキとした人生を送ることのできる社会づくりについて、一緒に考えてみませんか？

【講演会】6月26日(日)13:30～15:30

「アナウンサーパパが伝える、  
ワークライフバランスと女性活躍」

講師 **笠井 信輔**さん

(フリーアナウンサー)

フリーアナウンサーとして活躍されている笠井信輔さんを講師にお迎えして、笠井さんご自身の育児、仕事、闘病の体験談を通して、「ワークライフバランス」や「女性活躍」についてお話しいただきます。

男性アナウンサーとして初めて！立ち会い出産のために生放送を休んだ笠井さん。その時、会社では何が起きていたのか！？そこには、男性の育休取得を進めるためのヒントがあるかもしれません。ぜひ、ご参加ください。



※東京都出身

1987年フジテレビアナウンサーとして入社。  
2017年10月よりフリーとなる。

開催場所：新潟ユニゾンプラザ4階 大研修室（新潟市中央区上所2-2-2）

対象：テーマに関心ある方ならどなたでも **参加無料**

定員：会場参加100名・オンライン参加50名（申込先着順）

申し込み：事前申し込みが必要です。（5月16日（月）9時から）詳しくは財団HP



県内で活動する19の団体によるワークショップ

【同時開催】6月18日（土）～6月26日（日）

女性や子どもの人権、健康、コミュニケーションなど様々なテーマでワークショップが開催されます。ぜひ、ご参加ください。

新型コロナウイルス対策を徹底しています。

手話・要約筆記あり

一時保育あり（要申込）

「大事なことだけど、話しにくい」「知りたいけど、聞きにくい」

ぶっくばらんす4号

## 「思春期男子のモヤモヤする日常」発行しました！



女性財団の子ども向け啓発誌「ぶっくばらんす4号」を配付しています。

3月末の発行以来、県内の市町村や全国の男女共同参画センター、学校の先生などから大きな反響をいただいています。「いままでにない切り口」「恋バナやチェックリストが面白い。」「性教育の副読本に使いたい。」「学校に配付したい。」など。

反対に、物足りなさや「性の話は恥ずかしい。」「自然にわかることだから必要ない。」といったご感想もあるかと思いますが、「大事だけど、話しにくい。知りたいけど聞きにくいこと」をオープンに話すきっかけとなればと思います。

女性財団では、「ぶっくばらんす」を無料で配付しています。事務局までお問い合わせください。そして、読まれたら、どうかご感想をお聞かせください。



ぶっくばらんす1号

3号



4号

\*「ぶっくばらんす」は、(公財)新潟県女性財団が発行する男女共同参画ハンドブックです。



2号

### 編集スタッフからのメッセージ

毎年、手作り感満載で「ぶっくばらんす」を創っています。今回、私たちスタッフは、「男子はほんっとでも大丈夫か？」この問いからスタートしました。性教育や性被害にあわないためにはどうしたらいいのか？これまでのメッセージは女子向けが多いと感じたので、思春期真っ盛りの中学生男子を主人公に、男子にも「自分の体と心を大事にすること」「自己理解から他者尊重につなげること」を伝えたいと制作に取りかかりました。

とはいえ、男子のことがわかるようでわからない！ので、中学2年男子の親と県内の男子大学生へのインタビューから始めました。親たちからは「性について、日常会話の中で、どう伝えたらいいのか」という心配や不安を、また、大学生からは中学時代を振り返り、「今となっては、性教育は大事な授業だと思う」と話してくれました。

最終ページの「視点」は、元一橋大学講師で日本思春期学会名誉会員の村瀬幸浩さんから、今、男子中学生に一番伝えたいことを書いていただきました。ぜひ、ご覧ください。

### これからの人材育成セミナー

◆6月4日(土) 10時～16時(オンライン)

組織マネジメントのための **仕事のスキルの高め方**

講師：堀 公俊さん

NPO 法人日本ファシリテーション協会フェロー

参加費：5,000円

◆7月9日(土) 13時～17時(オンライン)

**コミュニケーションスキルを高める**

**傾聴と質問**

講師：石田 なお子さん

(株)HRインスティテュートコンサルタント

参加費：3,000円



令和4年度  
女性財団の事業計画を  
ご紹介します

女性財団では、これまでの①情報事業、②研修事業、③支援・交流事業の3事業に加え、新たに新潟県男女平等推進相談室の運営などの「相談事業」に取り組みます。また、男女が共に働きやすい職場環境づくりに取り組む「ハッピー・パートナー企業」の登録・支援も女性財団で行います。(いずれも県委託事業)

女性に対する暴力をなくす運動や男性の育休取得の促進などの啓発キャンペーン、様々な困難を抱える女性を支援する「つながりサポート事業」にも取り組んでいきます。

〈事業のあらまし〉

1 各種情報の提供事業 (7,463 千円)

男女共同参画社会に向けた情報を提供します。

- ・ホームページ、SNS等による情報提供
- ・機関紙「新潟県女性センター情報」の発行 (年4回)
- ・啓発誌「ぶっくばらんす5号」の発行 など。

2 研修事業 (11,720 千円)

人材の育成と啓発を図ります。

- ・男女共同参画の視点からの人材育成セミナー
- ・企業の男女共同参画・女性活躍支援セミナー
- ・女性リーダー養成セミナー (新規)
- ・女性の就業や育休復帰を支援するセミナー
- ・女性センター講座 ・男性向け講座
- ・市町村共催の地域セミナーなど。(合計 50 講座)

3 支援・交流 (31,612 千円)

- ・にいがた女と男 (ひととひと)  
フェスティバル 2022 の開催 (6 月)
- ・男女共同参画に関する啓発活動  
女性に対する暴力をなくす運動 (11 月)  
男女共同参画の視点からの防災対策
- ・企業・団体等の女性活躍推進への支援  
ハッピー・パートナー企業登録・支援 (新規)
- ・困難を抱える女性を支援するつながりサポート事業
- ・行政職員研修会

4 相談事業 (8,503 千円) (新規)

男女共同参画に関する相談や困難を抱える女性の相談・支援を行います。(新潟県男女平等推進相談室運営事業)

◆7月23日(土) 13時～17時(対面)

～自分で自分を育てる 自身につなげる～

自分との対話 セルフコーチング

講師：丸山 結香さん

(有)MAX・ZEN performance consultants 代表取締役

会場：新潟県女性センター 女性団体交流室 1

参加費：3,000 円 一時保育あり。詳細は HP で。

〈新しい取組み〉

■ ハッピー・パートナー企業登録・支援事業  
(新潟県男女共同参画推進企業)

新潟県では男女が共に働きやすく、仕事と家庭等が両立できるよう職場環境を整えたり女性労働者の育成・登用などに積極的に取り組む企業を「ハッピー・パートナー企業」として登録し、その取組を支援しています。  
(お申込み・お問い合わせ先)

新潟県女性財団

電話 025-285-6610

メール ngt.happy-p@npwf.jp



■ 新潟県男女平等推進相談室

男女関係、家庭、しごと、健康、生き方、暴力など様々な相談に応じています。どうぞお気軽にご利用ください。

- ◇ 場所 新潟ユニゾンプラザ 3階
- ◇ 電話相談 025-285-6605
- ◇ 来所相談(原則予約制です。)
- ◇ 相談受付 月～金 11:00～17:30  
土 10:00～16:30  
(12:30～13:40は受付休止)

- ◇ 弁護士による法律相談、  
医師によるこころの相談も  
受け付けています。(要予約)



■ 男女共同参画社会への啓発キャンペーン

- 男性の育休取得の促進・支援
- 理工系女子のロールモデルの普及
- デートDVの予防



## 会員情報

新潟青陵大学は、2 学部（看護学部、福祉心理学部）、2 研究科（看護学研究科、臨床心理学研究科）で構成される大学です。

学校法人青陵学園の建学の精神である「日進の学理を応用し、勉めて現今の社会に適応すべき実学を教授する」に則して「実学教育」を基調とし、「こころの豊かな看護と福祉の実践」を理念に、「人間性に富んだ看護・福祉の全人的教育」を目的に掲げています。



校舎外観



2022年2月28日(月)には、「新潟県女性のつながりサポート事業」の一環として、女性財団様との共催でイベントを開催しました。

「私たちが『つながる。』ために、性と自殺について話しをしよう。」と題してオンラインで開催したこのイベントでは、本学学生15名(内、短期大学部3名)が参加し、本学教員から性や自殺についての話題提供を受けた後、自身の体験や意見・気持ちを話し合いました。性や自殺について、深く考えるきっかけになったのではないかと思います。

### 大学と女性財団共催イベント

「私たちが『つながる。』ために、性と自殺について話しをしよう。」話題提供のようす

### 〈お問い合わせ先〉

〒951-8121 新潟市中央区水道町1丁目5939番地  
 TEL:025-266-9550(企画課) FAX:025-267-0053  
 E-mail:koho@n-seiryō.ac.jp



## 新潟県からの令和4年度県組織改正お知らせ

県では男女平等施策の推進体制を強化します。

男女平等社会の実現に向け全庁的な視点で総合調整し、部局横断的な取組を実施していくため、男女平等施策に関する業務を県民生活・環境部男女平等社会推進課から知事政策局政策企画課に移管し新たに「男女平等・共同参画統括監」を設置するとともに、「男女平等・共同参画推進室」を設置しました。

### 新たに男女平等施策を所管する組織

知事政策局 政策企画課

男女平等・共同参画推進室(県庁3階)

TEL 025-280-5787 FAX 025-280-5507

E-mail ngt000160@pref.niigata.lg.jp



### 編集・発行

公益財団法人 新潟県女性財団  
 〒950-0994 新潟市中央区上所2-2-2  
 新潟ユニゾンプラザ2階/新潟県女性センター



HP



FB



twitter

- 電話 025-285-6610
- fax 025-285-6630
- メール npwf@npwf.jp
- ホームページ <https://npwf.jp>
- Facebook 新潟県女性財団
- twitter @npwfniigata

### 【編集後記】

4月から新体制となった女性財団。新潟県男女平等推進相談室も加わり、総勢12名の事務局体制となりました。

事務室内の配置も変わり、「違う部屋に来たみたい」「広く感じる」と皆さんに驚かれます。お近くにお越しの際は、お気軽にお立ち寄りください。(む)